

府中市生物多様性地域戦略検討協議会委員活動整理

1 第1回観察会資料1「現在行っている活動、今度取り組みたい活動について」整理

1) 「現在行っている活動」記載事項の抽出より

(1) 環境調査・観察に関すること

- ・多摩川で植物の調査
- ・多摩川で野鳥の観察
- ・郷土の森博物館園内、農工大構内で月1回の野鳥観察とデータの蓄積
- ・野鳥の調査：ヒバリ調査、カモ調査、ヒバリ調査、ツバメ集団ねぐら観察会
- ・丘陵地でカタクリの調査
- ・武蔵台公園で自然環境調査員による野鳥・植物・昆虫の調査（月1回）
- ・府中市内の植生調査
- ・西府崖線での野鳥・樹木・昆虫観察

(2) 環境学習・教育に関すること

- ・水辺の楽校（総合的な学習の支援） 多摩川河川敷で年10回程度のイベント
- ・四谷小学校多摩川観察会（小学3年生）「食べられる野草を探そう」
- ・森林インストラクターとしての活動
- ・他地域での活動（港区みどりを愛し護る会）
- ・親子観察会の開催
- ・小中学校の総合教育への協力
- ・自治体や地域団体等が開催するイベントに参加
- ・多磨霊園冬鳥観察会
- ・若松小学校総合的な学習の支援

(3) 環境保護・保全に関すること

- ・多摩川で植物（カワラナデシコ、レンリソウ、ワレモコウなど）の保護
- ・浅間山公園で環境保全（間伐、枝打ち、下草刈り、巡回、山野草の保護育成など）
- ・植栽時における在来種選定ガイドラインを作成し、在来種植栽の推進
- ・在来植栽の管理方法などを検討する部会を企業参加のもとに立ち上げ、シンポジウムの開催や事例集の作成などを実施
- ・アレチウリなどのつる性植物の除去作業
- ・外来種対策の強化

(4) 普及啓発に関すること

- ・イベントの自主開催（キスゲフェスティバル、植物観察会、写真展）
- ・会報、パンフレット、浅間山四季彩々の発行

- ・ 浅間山公園の雑木林マイスター講座
- ・ 府中市環境調査員会議の学習会
- ・ 農工大・読売新聞共催の市民講座

(5) 事業者による取組みに関すること

- ・ 武蔵台公園との連続性を考慮した植栽
- ・ 水系ビオトープづくり
- ・ いきものガイドブックの作成
- ・ 生態系モニタリング調査
- ・ 落ち葉を腐葉土にする
- ・ 専門家による生物調査の実施

2) 「今後取り組みたい活動について」記載事項の抽出

(1) 環境調査・観察に関すること

- ・身近な学校・公園・河原での自然観察会（子供樹木博士など）を通じて生物多様性を知る、学ぶきっかけづくり
- ・府中市の生物目録と分布情報地図の作成
- ・学校・事業所・公園ごとの生物相把握と目標設定

(2) 連携・参加に関すること

- ・森林インストラクターや先輩たちとの協力関係
- ・むさしのネイチャーカレッジに積極的に参加
- ・学校主催だけではなくPTA行事として開催
- ・公園などの植物の手入れのボランティア

(3) 環境保護・保全に関すること

- ・多摩川の貴重な植物の保全活動
- ・浅間山保全活動への参加
- ・浅間山独自の絶滅危惧種の選定

(4) 生息地の創出に関すること

- ・多摩川の魚の産卵場所づくり
- ・緑化推進 家庭菜園、ガーデニングの促進
- ・田園ビオトープの実現（農工大の本町農場の一角にできないか）

(5) 普及啓発・情報発信に関すること

- ・府中郷土の森博物館での展示
- ・案内用マニュアルの製作
- ・浅間山四季彩々は花が中心なので、樹木編、動物編を製作
- ・緑地管理のワンポイント集の作成
- ・府中の自然100選の選定
- ・ちびっこ写真展

(6) その他

- ・地球レベルで環境問題をとらえるレベルの集団に育てる
- ・メンバーの知識向上、若返り
- ・府中市職員の人材育成
- ・（行政が）緑施策の新展開に基づく取り組みの推進

2 施策の立案に向けて

1) 「生物多様性地域戦略策定の手引き（環境省）」との比較

手引きの 57～58 ページに示された「横断的・基礎的施策」と各種取組みを「資料 3」のとおり整理した。

① 「現在行っている活動」より

A、B：「野生生物の保護と管理」に対応した取組みが充実している。

C、D：「普及と実践」のうち「経済的措置」を除いた項目に対応した取組みが充実している。

E：「情報整理・技術開発」に対応した取組みが充実している。

F：「遺伝資源などの持続可能な利用」「普及と実践の中の経済的措置」「国際的取り組み」「地球温暖化に対する取組み」「環境影響評価など」に対応した取組みが無い（少ない?）。

② 「今後取り組みたい活動」より

G、H、I：「現在行っている活動」に該当する取組みは無いが、今後取り組みたいという希望がある項目。

2) 基本方針

I：今後もこれまでどおり推進する。継続的改善を図る。

II：今後推進するために必要な支援策などの検討・実行に注力する。

III：時間をかけて実現策を検討する。

(IV：基本的に存在しない)

